

1. 会議基本情報

会議名：住民説明会（田皆字）

日時：2026 年 8 月 12 日

2. 決定事項・全体サマリー

- 役場旧庁舎跡地は「島の駅」をコンセプトとし、平時は交流・利便性の拠点、災害時は避難所として機能する施設とする方向で検討を進める。
- 経営難のフローラルホテルについて、経営立て直しのためにプロの会計士を導入するとともに、大浴場利用料の約 100 円値上げを実施する方向である。
- 町制 80 周年記念行事を 11 月 14 日に開催し、町民主体のイベントに対して上限 20 万円（総額 200 万円枠）の出資・補助を行う。
- 町のホームページの検索性向上および各課の動きがわかる情報発信の改善について、総務課にて取り組む。
- 水道の軟水化施設は来年 3 月に完成予定であり、約 3 か月の試運転を経て、来年 6～7 月頃から知名町全域へ供給を開始する見込みである。

3. 議題ごとの詳細議論

議題 1：裁判手続きの進捗について

- 【概要・論点】：町が抱える裁判の進捗状況と、町長の説明方針について。
- 【主な意見・議論】：
 - 議会から早く裁判を進めるよう 2 度否決および催促を受けたが、町長としては町民の意見を聞き、自身の口から直接内容を説明した上で判断したいという意向があった。
- 【結論】：町民への説明の場を設けた上で、裁判の手続きは既にスタートさせている。

議題 2：役場旧庁舎跡地の活用

- 【概要・論点】：役場旧庁舎跡地における新しい施設のコンセプトと具体的な導入機能について。
- 【主な意見・議論】：
 - コンサルタントや関係各所へのヒアリングをもとに、「島の駅」として様々な人が集まり、繋がれる場所を作るというコンセプトが策定された。

- 町民からは、子供の遊び場、高齢者の集いの場、金融機関、カフェレストラン、チャレンジショップなどの要望が出ている。
- 知名郵便局が知名小学校の近くにあり、路上駐車が多く子供の通学に危険であるため、跡地に郵便局と民間の金融機関をあわせて移転させる案が有力視されている。
- 沖永良部バス企業団の事務所が老朽化しているため、施設内への一部移転も検討されている。
- コンサルタントからは、平時の利用だけでなく、災害発生時に災害避難場所としても機能する設計にすべきとの強い意見があった。
- 【結論】：平時は利便性が高く人が集まる場として機能し、災害時には避難所となる施設の方針で計画を進行する。

議題3：フローラルホテルの経営状況と立て直し策

- 【概要・論点】：年間約1,000万円の赤字となっている町営ホテル「フローラルホテル」の現状課題と今後の改善策について。
- 【主な意見・議論】：
 - 宿泊客数は現在2万人を下回っており、利用客の約7割がビジネス客で、観光客は2割にとどまっている。
 - 先の台風でフローラル館の屋根が破損して雨漏りが発生し、現在一部が使用禁止となっている。
 - 調理師不足によりランチ営業を停止しており、大手ホテル経営者やファミリーレストラン等へ委託を打診したが、調理師確保の困難さを理由に断られている。
 - コスト削減や団体誘致を進めるとともに、プロの会計士を入れて経営の立て直しを図る方針が示された。
- 【結論】：経営改善策の一環として、町民向けの大浴場・サウナの利用料金について、約100円の値上げを実施させていただく方向である。

議題4：町制80周年記念行事

- 【概要・論点】：町制80周年を記念する式典やイベントの計画、および町民企画に対する補助制度について。
- 【主な意見・議論】：

- 11月14日に式典と祝賀会を開催することが決定している。会場はフローラル館を予定しているが、収容人数が250名であるため、参加者が300名を超える場合は体育館で実施する。
- スローガンは町民の考案による「紡ぎ気づいたこの街に明日の風光る」に決定した。
- 役場だけでなく町民主体の行事とするため、予算200万円を組み、子育て世代や世代間交流の民間イベントに対し、審査の上で1件あたり上限20万円を出資（補助）する。
- 既に子育て世代からイベントの計画書が提出されている。
- 【結論】：11月14日の式典に向けた準備を進めるとともに、町民発案の記念イベントに対して補助金（上限20万円）を交付して支援する。

議題5：質疑応答（ホームページの改善・水道の軟水化）

- 【概要・論点】：町民からの町ホームページの利便性向上に関する要望と、水道の軟水化完了時期に関する質問。
- 【主な意見・議論】：
 - 住民より、「町のホームページが検索しづらく、各部署の動きが体系的に把握できない。災害時の避難相談も含め、情報にすぐアクセスできる一元化されたページを作してほしい」との要望が出た。
 - 町長は、誤解を防ぐために今回は直接口頭で説明を行っているとした上で、ホームページの検索性改善について総務課長へ対応を指示した。
 - 移住者の住民より、「水道の軟水化がいつから実施されるのか」との質問があった。
 - 上下水道課長より、「現在浄水場の整備工事中で来年3月に完成予定。その後、断水を避けるための試運転に約3ヶ月かかるため、来年6～7月頃から知名町全域へ供給できる見込み」との回答があった。
- 【結論】：町ホームページの検索性向上および情報発信の改善については、総務課にて取り組む。水道の軟水化施設は来年3月に完成予定であり、来年6～7月頃の供給開始を目指す。